

第5回品川区地域公共交通会議

令和5年7月31日

鈴木課長	<p>皆様、おはようございます。定刻になりましたので、これから第5回になります。品川区地域公共交通会議を開催させていただきます。</p> <p>私、都市計画課長の鈴木でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>まずは、委員の皆様におかれましては、御多忙のところ、また、本日もこの時間から非常に暑い日になっておりますが、昨年の8月以来となります。本会議に御出席を賜りまして、誠にありがとうございます。</p> <p>開会に先立ちまして、前回の会議以降に人事異動等により委員の変更がございましたので、御紹介させていただきます。</p> <p>初めに、東急バス株式会社運輸事業部計画部地域交通グループ課長、石委員でございます。</p>
石委員	<p>よろしくお願ひします。</p>
鈴木課長	<p>本日は欠席の御連絡をいただいておりますが、一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会業務部長、小池委員でございます。</p> <p>続きまして、品川区高齢者クラブ連合会副会長、福嶋委員でございます。</p>
福嶋委員	<p>どうも、福嶋でございます。よろしくお願ひします。</p>
鈴木課長	<p>続きまして、国土交通省関東運輸局東京運輸支局首席運輸企画専門官、鎌塚委員でございます。</p>
鎌塚委員	<p>鎌塚です。よろしくお願ひします。</p>
鈴木課長	<p>続きまして、警視庁荏原警察署交通課長、大橋委員でございます。</p>
大橋委員 (代理徳丸氏)	<p>代理の徳丸です。よろしくお願ひいたします。</p>
鈴木課長	<p>続きまして、警視庁東京湾岸警察署交通課長、小林委員でございます。本日は代理出席の高橋委員でございます。</p>
小林委員 (代理高橋氏)	<p>高橋です。よろしくお願ひします。</p>
鈴木課長	<p>続きまして、国土交通省関東地方整備局東京国道事務所交通対策課建設専門官、池田委員でございます。</p>
池田委員	<p>池田です。よろしくお願ひします。</p>

鈴木課長	<p>続きまして、本日は欠席の御連絡をいただいておりますが、東京都建設局第二建設事務所管理課長、山下委員でございます。</p> <p>なお、本日、東京都交通運輸産業労働組合協議会幹事の志村委員、品川区商店街連合会相談役、島委員及び警視庁大井警察署交通課長、渡邊委員につきましては、所用のため御欠席の旨、御連絡をいただいております。</p> <p>本日の御出席者の御紹介につきましては、机上に配付しております委員名簿並びに座席表にて代えさせていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>続きまして、本日の資料の確認でございます。</p> <p>机上に配付させていただいておりますのが、本日の次第、座席表、委員名簿。次に、事前に送付させていただいております資料でございますが、右上に資料1と書かれたA4ホチキスとじの「東部地区地域交通バス事業計画(案)」、それから、資料2と書かれたA3ホチキスとじの「令和4年度しなバスの運行状況について」、資料3と書かれたA3ホチキスとじの「令和4年度利用者・沿線住民アンケート結果について」、こちらの3点でございます。不足等ございませんでしょうか。</p> <p>それでは、これより会の進行は寺田会長にお願いしたいと思います。寺田会長、よろしく願いいたします。</p>
寺田会長	<p>それでは、ただいまから第5回品川区地域公共交通会議を開会いたします。お暑い中お集まりいただきまして、ありがとうございます。よろしく願いいたします。</p> <p>まず最初、傍聴の関係ですけれども、本日、2名の傍聴を希望される方がおられます。品川区地域公共交通会議設置要綱第9条の規定により、本日の会議を公開したいと思いますのですが、よろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p> <p>それでは、傍聴者の方に入室をしていただきます。事務局はよろしく願いします。</p> <p>(傍聴者入室)</p> <p>それでは、お手元の次第に従いまして進めさせていただきます。</p> <p>まず、1つ目の議題、目黒区東部地区地域交通バス(仮称)の導入について、こちらは目黒区の事業ではありますが、品川区内にバス停を新設し、一部区内をバスが通行することから、品川区地域公共交通会議に諮る必要があるため、本日、議題に上げております。</p>

	<p>それでは、目黒区から御説明をお願いいたします。</p>
目黒区	<p>目黒区のみどり土木政策課長の清水でございます。本日は、目黒区の地域交通導入に関しまして、本交通会議でお時間いただき、ありがとうございます。</p> <p>お手元の資料1を御覧ください。「東部地区地域交通バス（仮称）事業計画（案）」でございます。</p> <p>目黒区でございますが、東西南北、それと中央の5地区に分けておまして、その中で、今回、東部地区の地域交通の導入でございます。東部地区でございますが、渋谷区の恵比寿、品川区の上大崎に隣接しております、目黒駅の西側にあるエリアとなっております。</p> <p>資料1を1枚おめくりいただきまして、項番1、東部地区地域交通バス（仮称）の事業計画（案）の表を御覧ください。</p> <p>まず一番上、運行の目的でございますが、東部地区の地域住民の移動手段の確保や高齢者の外出の創出でございます。</p> <p>その下、運行期間でございますが、令和6年3月から1年間の実証運行を行いまして、必要に応じて見直しを行い、最長3年間の運行を行い、本格運行への移行を判断していきます。</p> <p>運行の方式でございますが、路線定期運行としまして、既存の路線バスの停留所を共用しまして、乗換えの利便性向上を図るため、4条許可により運行を予定しております。</p> <p>運行事業者は、目黒区内全域で路線バスを運行しております東急バスとしまして、乗換えにより区内の移動手段を確保し、利用者の利便性向上を図るという内容にしております。</p> <p>運行ルートや周辺施設でございますが、次のA3のカラーの資料を御覧ください。運行ルート案と施設と一緒に御説明させていただきます。</p> <p>まず、左の図の青い点線でございますが、目黒区役所から目黒駅への往路、右の赤い点線が目黒駅から目黒区役所までの復路を示したものでございます。主要な施設としましては、途中、東京共済病院、厚生中央病院、そして、商業施設としまして、恵比寿ガーデンプレイス、区内の公園、高齢者施設を運行する内容となっております。</p> <p>往路、復路合わせまして約11.7キロ、使用する車両につきましては、小型のEVバスとしまして、運行日は平日及び土日祝日、時間帯は朝の8時半から16時45分の8時間、45分間隔の1日12便としております。</p>

	<p>運賃でございますが、区内の路線バスと同様、大人220円、子供110円としまして、割引制度は区内路線バスと同程度とする予定としております。</p> <p>バス停についてでございますが、もう一枚おめくりいただきまして、A3の資料、往路復路を同じで記載してございます。バス停数としましては27か所ございまして、そのうち新設するバス停が13か所でございます。そのほか、東急バスの既存バス停を共有する箇所が8か所ございます。図では、黄色い丸印が新設する箇所で、緑色の丸印が既存バス停の箇所となります。往路と復路、同じバス停を使用する箇所がございまして、今回、整備するバス停は21か所となります。</p> <p>そのうち、復路の⑮のところでございます。こちらのバス停は品川区内の道路に設置する予定としておりまして、最後の資料に現地の写真を載せてございます。プリンセスガーデンホテル前の歩道上にバス停を設置するという内容になってございます。</p> <p>本日は、目黒区の地域交通バス導入に伴いまして、品川区内の運行やバス停の設置につきまして、本交通会議に御了承いただきたく、よろしくお願いたします。</p> <p>資料1の説明は以上です。</p>
寺田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、ただいまの御説明について、質問、御意見等ありましたらお願いします。いかがでしょうか。特にないようですが、それでよろしいですか。</p> <p>区をまたいでいただいて、品川区に移動なんかもちよっと使えるようになるというお話ですので、あまり問題ないかと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、特に御意見がなければ、目黒区地域交通バスの導入について、内容のとおり進めていただくこととすることよろしいでしょうか。この会議で同意したということよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(「異議なし」の声あり)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、次に行ってよろしいですか。2つ目の議題、令和4年度しなバスの運行状況について、事務局から御説明をお願いします。</p>
鈴木課長	<p>それでは、資料2を御覧いただけますでしょうか。資料2、おめくりいただきまして、A3横の資料を御覧ください。令和4年3月末より試</p>

行運行を開始しました大井ルートでございますが、その利用状況についてお示ししてございます。

試行運行のルートマップのところを御覧いただきまして、現在、試行運行を実施しているのが赤の西大井駅―大森駅を往復する約6.4キロメートル、こちらの試行運行を実施しているところでございます。

下段を御覧いただきまして、令和4年度の4月から3月までの1年間の利用状況を数値としてお示ししてございます。10月からダイヤ改正を行っておりまして、それまで30分に1本の運行間隔だったものを、10月1日から20分に1本の運行間隔でダイヤ改正を行ってございます。

上段の利用者を御覧いただきまして、おおむね毎月1万4,000人から1万5,000人と、ダイヤ改正の10月の月は1万9,000人の御利用があったところでございますが、その後、1月、2月、3月は、上下はございますが、1万7,000人、1万6,000人、1万8,000人の御利用というところでございます。

それから、その下には1日の利用者数、おおむね500人、多いときで620人等の御利用があります。座席が10、立ち席を含めると28程度の乗車定員でございますが、1便当たり8人、あるいは7人の御利用をいただいているところでございます。

それから、一番下の参考というところを御覧いただきまして、現在、試行運行というところでございまして、試行運行期間4年間、令和4年度から令和7年度、それから来年度になりますが、令和6年度の運行実績に基づき、その後、本格導入なのか、あるいは見直し、廃止なのかを判断していくというところで、判断基準は収支率50%を設定してございます。

収支率のところを御覧いただきまして、括弧書きにシルバーパスなしの場合、シルバーパスありの場合と分けております。コミュニティバス「しなバス」につきましては、基本的にシルバーパスを提示いただいて無料で乗車いただいている状況です。こちらの収支率につきまして、シルバーパスなしというところにつきましては、シルバーパス分の運賃を補填しなかった場合の収支率というところで、25%、26%、34%等々の収支率となっております。平均でいきますと、29%の収支率というところでございます。それから、シルバーパスありと記載させていただいておりますが、シルバーパスで乗車いただいた方の運賃を収入と

	<p>見立てて補填したと想定した場合は、判断基準の50%を超えて、平均ですと59.7%というような状況でございます。</p> <p>続きまして、項番3番目を見ていただきまして、令和4年度の車内等の広告の利用状況でございます。令和4年度の広告の利用状況につきましては、車内放送2件、車内ポスター1件というところで、車内ポスターにつきましては、車内への広告の掲示というところと、車内放送につきましては、バス停について2か所、「次は何々バス停」、その御応募いただいたお店の名前、あるいは事業者のお名前を入れさせていただいて、バス停ごとで広告、放送をさせていただいているのが2件というような状況でございます。車内広告につきましては、区のホームページでも募集の御案内を差し上げているところがございますが、まだ実績がないものとして、上段に書かせていただいておりますが、バスのインフォメーションやバス停の広告、あるいは車体のラッピング、こうしたものは御相談に応じて積極的に広告等を御利用いただけるように検討していきたいというような状況でございます。</p> <p>令和4年度のしなバスの利用状況、運行状況につきましては、簡単でございますが、以上でございます。</p>
寺田会長	<p>ありがとうございます。それでは、御質問、御意見ありましたらお願いいたします。</p>
寺内副会長	<p>では、1点、質問させていただきます。</p> <p>利用者数が便ごとに出ておりますけれども、着席率というか、要するに、座れている状態かどうかというのは、混んでいる便もあったり、すいている便もあったりすると思うのですけれども、シルバーパスありなしの収支率ですけれども、この表を見ると、かなりの方が高齢者ということであると思いますが、座れている状態なのかどうかというところがもし何か情報としていただければ、ありがたいなと思います。</p>
鈴木課長	<p>この後に利用者アンケート並びに沿線住民アンケートについて御説明しますが、それと同時に、令和4年度は利用の実態調査というところも行っている状況でございます。昨年度、ある平日の1日の利用状況を朝から、始発から終バスまで定点というか、観測させていただいたところ、朝夕の通勤時間帯よりも、やはり昼間の11時台、あるいは2時、3時台の利用が非常に多い状況でした。その混雑率も、時間帯によっては何本か座席を超える利用があったというところがございます。全体的な状況で言いますと、先ほど御説明した1便当たりの平均の人数を見ていた</p>

	<p>だいて分かるように、おおむね座席に座っていただいて御利用いただいていると。多少、時間帯によっては立って御利用いただく時間帯もあったかなというところでございます。</p>
寺内副会長	<p>分かりました。ありがとうございます。</p>
寺田会長	<p>よろしいでしょうか。 ほかございますでしょうか。 お願いいたします。</p>
米澤委員	<p>東京バス協会の米澤でございます。 収支率のパターンが2つ出ておりますけれども、このシルバーパスありなしなんですが、現在、しなバスの方はシルバーパスの補填を受けていないということなんですけれども、あくまでもシルバーパスの補填を受けたらばということだと思っておりますけれども、この単価の求め方は、シルバーパスのカウント数を通常運賃で見た場合なのか、それともシルバーパスの補填の単価なのかを教えてくださいませんか。 あともう一点は、シルバーパスを見せるだけで、ピッとカードをかざすわけではないので、カウントは機械でできないですが、シルバーパスのカウント方法を教えてくださいませんか。その2点をお願いします。</p>
鈴木課長	<p>2点、御質問をいただきましたが、資料に記載している収支率、シルバーパスありなしの補填した場合の金額の換算は、基本的には東京都が進めているシルバーパスの分配といいますか、そうしたものは受けられないと事前に聞いてございますので、こちらの金額については、基本的に220円換算で計算をしているところでございます。 それから、シルバーパスのカウントでございますが、例えば乗っていただいた全ての人数の方に対して、例えば割引利用、回数券、現金払い、あるいはICカード利用等、これ以外の方をシルバーパスという形でカウントしています。</p>
寺田会長	<p>運転手さんに数えていただいて……。</p>
鈴木課長	<p>という形ではありません。</p>
寺田会長	<p>はい。よろしいですか。通常のカウントは普通のバスと同じで、何か調整されているということですかね。 よろしいですか。 では、そのほか、お願いします。</p>
金子委員	<p>二丁目町会長の金子と申します。</p>

	<p>運行状況、非常に利用者も多くて結構だと思うんですが、最初に、走る前に、バスをまず我々は見たこともないんです、どんなバスなのか。それから、走るコースも、一度ぐらいそのバスに乗って、一回り案内してくれたらどうかなと思ったんですが、いつの間にか営業が始まっちゃったので、その点を今後どうするか、ちょっとお考えいただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。</p>
鈴木課長	<p>試行運行に当たっては、どの地域、どのルートを走らせるか等、交通会議にお諮りして、最終的に大井ルートの試行運行を開始するという形で進めてきまして、本来なら、この交通会議の委員の皆様、試行運行を開始する今年の3月以前の段階で試乗といいますか、乗っていただいて、見ていただくということを行うべきだったかなと、今お話を伺って反省しているところでございます。</p> <p>試行運行を開始する当日は、地域の方、関係の方に集まっていただいて開始のセレモニーを行って、バスの運行を開始したところでございます。今後、特にほかの地域の会長、地域の方々に実際に区のコミュニティバスを見ていただいて、乗っていただくような取組実施を検討していきたいと考えてございます。</p> <p>それから、先ほど1点、説明し忘れたんですが、全体の乗車のカウントでございますが、足元にセンサーがついておりまして、そのセンサーの総数に対して、先ほど御説明した引き算で残ったのがシルバーパスの乗車というところでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
金子委員	<p>ありがとうございました。</p>
寺田会長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>いつものお話ですけれども、しなバスの利用状況、月別で見ますと、4月とダイヤ改正の10月が一番多い。7月も多いようですけれども、どちらかという、最初のPRは恐らく割合効いていて、その後、リピーターを取り込めていないような印象は受けます。ありがとうございます。</p> <p>ほかございますでしょうか。</p> <p>令和6年度の運行実績に基づいて最終的な判断を行うということですが、その前には、例えば収支率にシルバーパスを含めるのか否か、この辺りを整理していただけるということでしょうか。</p>
鈴木課長	<p>その通りです。</p>

寺田会長	<p>それでは、よろしいでしょうか。</p> <p>もう一つですね。それでは、続いて、3つ目の議題の令和4年度利用者・沿線住民アンケート結果について、事務局から御説明をお願いします。</p>
鈴木課長	<p>それでは、引き続き、コミュニティバス、「しなバス」に関するアンケートの結果について御報告させていただきます。</p> <p>まず初めに、本日、机上に配付させていただきましたが、A4縦の1枚紙の資料でございます。「しなバスに関するアンケート結果について」というこちらの資料をまず御覧いただけますでしょうか。</p> <p>令和4年3月28日に施行運行を開始したしなバスでございますが、利用者及び沿線住民の利用状況や満足度を把握するためにアンケートを実施しております。</p> <p>初めに、1の調査方法についてですが、調査は(1)実際の利用者、それから(2)沿線住民の方を対象に実施しております。(1)利用者アンケートとしまして、西大井駅と大森駅北口での利用者への直接配付、こちらは資料には記載しておりませんが、昨年の令和4年11月24日から4日間、直接配付しております。また、全てのバス停にアンケート用紙を設置し、郵送にて回収する方法で実施しております。回答率は57.7%、有効回答率は440票となっております。</p> <p>また、(2)沿線住民の方、バス停から300メートル圏内の約3,000名の方を無作為抽出し、郵送配付、回収により実施し、回答率は35.4%、有効回答数は1,062票でございます。</p> <p>次に、結果の概要でございますが、A3横の資料3を御覧ください。</p> <p>初めに、利用者アンケートの結果についてでございますが、(1)の回答者の属性、こちらは利用者の属性となりますが、70歳代が36%と最も多く、高齢者が過半数となっている状況です。</p> <p>次に、その横、(2)回答時のしなバスの利用についてですが、9割以上の方が既に複数回利用との回答で、次にその横、乗降のバス停として最も多かったのが大森駅北口で36%、次いで、西大井駅26%となっております。途中のバス停では、さくら会前が12%と多い結果となっております。</p> <p>次に、その横、運賃の支払い方法としましては、45%の方がシルバーパスを利用されている結果でございます。</p> <p>次に、資料上段の一番右、目的地については、大森駅周辺が66%と</p>

最も多く、また、9%の方が品川区外への移動手手段として利用されている結果となっております。

次に、資料中段(3)ふだんのしなバス利用、利用頻度としましては、平日の利用頻度は週に2回から3回程度が29%と最も多く、次いで、週1回程度の順となっております。また、休日等の利用頻度では、月に1から3回程度が60%と最も多く、次いで、2割の方が土日は利用していないとの結果となっております。

次に、資料左下の利用目的についてですが、平日、土日ともに買物利用が約6割と最も多く、次いで、娯楽・外食、通院となり、利用の目的として身近な生活支援、商業の利用目的が多い結果となっております。

続きまして、資料中段右、(4)満足度についてですが、総合的な満足度は、満足、やや満足を合わせ75%となっており、一方、不満、やや不満が比較的多い項目は、運行間隔、運行経路、バス停の位置や間隔となっております。

次に、(5)自由意見としましては、利便性の向上につながっている等の意見が106件と最も多く、一方で、改善要望として運賃についてが36件、バス停の位置やバス停の増設等についてが27件と多く見られました。

続きましては、資料をおめくりいただきまして、次のページ、沿線住民の方へのアンケート結果となっております。(2)の情報発信としましては、回答者のうち9割の方がしなバスを知っているとの回答でございます。

次いで、資料上段右、しなバスを知った媒体は、運行しているバスを見てが6割以上、次いで、バス停を見てが約5割、配付されたチラシ及び広報しながわがそれぞれ約3割となっております。

次に、資料中段、(3)利用状況についてですが、回答者のうち66%の方がしなバスを利用したことはないと回答し、資料のその横、その利用したことがない方の今後の利用意向としましては、42%の方が今後利用してみたいとの回答でございました。

また、資料下段の左、しなバスを利用したことがない理由としましては、別の手段の方が便利が4割近く、また、2割が自宅からバス停が遠いとしてございます。そのほかの理由としましては、使う必要や運行方面に目的がないが最も多く、運行状況を知らない・分からないも61件の結果となっております。

	<p>次に、(4)の満足度についてですが、総合的な満足度は、満足、やや満足を合わせ5割弱となっております。一方、不満、やや不満が比較的多い項目は、最終便の時間、運行間隔、運行路線、バス停の位置や間隔となっております。</p> <p>次に、(5)自由意見では、利便性の向上につながっている等の意見が182件と最も多く見られ、車体の色や外観に対する好意も27件見られました。改善については、運賃についてが71件、情報発信の必要性についてが33件、バス停の位置や増設等についてが32件と多く見られた結果でございます。</p> <p>しなバスについてのアンケート結果の概要報告は以上でございます。</p>
寺田会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいまの御説明につきまして、御質問、御意見がありましたらお願いいたします。</p> <p>お願いいたします。</p>
金子委員	<p>現在、私もここへ来るのに北品川からバスに乗って大井まで来んですが、この暑さで、バス停に日よけがないんですよね。この点はどうなんでしょうか。しなバスに限らず、今日は東急バスの方もいらっしゃっているんで、皆さん、利用者が日よけが欲しいとおっしゃっているんですが、この点はいかがでしょうか。</p>
鈴木課長	<p>バス停、これはコミュバスに限らず、区内の民間のバス停での上屋の設置の状況でございますが、基本的にバス停を設置しようとする場合は、道路上への建築物の設置というところで、建築基準法の許可がまず必要だということと、設置する場合は、歩道幅ですとか、道路の構造令ですとか、そうしたことから、設置がしたくても設置できないバス停も区内にたくさんございます。</p> <p>そうした中で、最近ですと、都バスさんが幾つか区内でバス停の上屋の更新、あるいは新設を行っていただいているというような状況でございます。</p> <p>しなバスの件でお話しさせていただきますと、基本的に、現在のルート上にバス停を設置しようとする、道路幅の関係上からなかなか設置が難しいところが1つありますが、場所によっては、桜新道の辺りは歩道幅員も比較的に広くございますので、設置の検討の可能性はあるかと思っておりますが、現在、コミュニティバスは試行運行を行っている状況ですので、そうしたバス停の上屋については、本格導入した以降の検討になる</p>

	のかなというような状況でございます。
金子委員	利用者が50代以上、70代が多いということなので、お年寄りには暑さに大変弱いですから、その点、御配慮いただいて、よろしく願いいたします。
鈴木課長	この会でいただいた御意見については、各バス事業者の方にも御意見としてお伝えさせていただきたいと思っております。ありがとうございます。
寺田会長	道路管理者の方とかバス会社の方、何か御発言ありますか。よろしいですか。
関委員	荏原第二地区町会連合会の関と申します。 私、今後の状況で、試行運行期間の間の利用者という面で、あまりどうだろうなと思うと、コロナのせいで外出が手控えられたというのはあると思うんですけども、これから向こう何年ぐらい試行期間を経て、それこそ荏原地区も候補に入っていますよね。あれ、大体いつ頃になりそうなのか、地元の人を待っている人もありますので、そこら辺、予定どおりにいきそうなのか、ちょっと伺いたい。
鈴木課長	現在、大井ルートを試行運行していきまして、この判断を、来年度、令和6年度の運行実績に基づいて、その後継続して本格導入していくかどうかという判断をすることになります。その際に、恐らく令和6年度の後半と令和7年度になると思うんですが、あわせて、同交通会議でお示しした残りの候補ルート、大崎ルートと荏原ルートについても試行運行を実施していくかどうかの判断を同時に併せて行っていくというような予定でおります。
関委員	結論は令和6年度ぐらいでしょうか。
鈴木課長	令和6年度の実績を見て判断ということになりますので、令和6年度の後半から令和7年度にかけて、正確には令和7年度に判断をしていくというようなことになろうかと思っております。
関委員	分かりました。ありがとうございました。
寺田会長	はい、お願いします。
庄田委員	品川区障害者七団体協議会の会長をしております庄田と申します。 2点お話ししたいのは、まず1点は、利用状況の把握をする場合に、しなバスにはスロープがついていまして、どこのバス停でも車椅子で乗れるかと思うんですが、どのぐらいの車椅子の方とかの利用があったかが分かったら教えていただきたいという点が1つと、もう一点、私もよく西大井の駅からしなバスを利用させていただいています。そのときに、

	<p>割と遅い時間、先ほど最終便の時間のことをちょっとおっしゃっていましたが、一番遅い時間だと座れない率が高いです。大体立って乗っていましたが、9時または9時半頃に終了ということなのですが、あのぐらい混んでいるんだったら、もう一便、30分とか20分とか遅らせても収支率に寄与するのではないかなと感じました。</p> <p>以上です。</p>
鈴木課長	<p>御質問の1点目の車椅子の方の利用状況についてですが、令和4年度の利用実態、これはいろいろと統計を取りたい関係で、東急バスさんとは定期的に行っている事務の連絡会の中で、こういう数値が取れませんかという御相談を差し上げているんですけども、基本的にはまず、運転手の方が、そうした場合は数をカウントしていただくことになってしまって、まずは安全運転に第一に専念をしていきたいというところで、なかなかそういう細かい数字を運転手さんに、手でカウントしてもらうことになってしまいますので、なかなか難しいところもあります。ただ、そうした意味で、感覚的に車椅子の方がどれぐらいの利用があったかというのは、区としても令和4年度分を東急バスさんにはまだ照会をかけておりませんので、また改めての機会になるかと思いますが、そうした利用状況の実態について、これはどうしても運転手さんの感覚的なところにはなるかもしれませんが、またこの会の中で御紹介させていただける機会があれば、御紹介させていただきたいと思います。</p> <p>それから、2点目の終バス時間帯の御利用の実感から御提案をいただいて、もう一本ぐらい遅いバスもということでございますが、今年度、いろいろアンケートを受けて、今年度もまたアンケートを行う予定でございますが、より多くの方に乗っていただくための改善策は今、検討しているところでございます。どうしても本数を増やして、その分、多くの方がプラスの収益になるような利用実態になれば、収支率的にはプラスということになるんですが、本数を1本増やすと、運行に人件費も含めて非常に経費がかかるというところで、なかなか難しいところがありますが、いただいた御意見として、今後の運行状況の改善の検討の参考にさせていただきたいと思います。</p>
寺田会長	<p>よろしいでしょうか。後で回答するようにするというので、よろしくをお願いします。</p> <p>令和5年度もありますけれども、ダイヤ改正は、週末だけ動かすのは難しいのかもしれませんが、逆に昼間の減便とか何かはあるかも</p>

	<p>しれないので、令和6年に20分置きを維持するか、廃止するかという議論も難しいと思いますので、途中で収支改善をする方法があれば、試していただけるといいかなと思います。</p> <p>よろしいでしょうか。ほかございますでしょうか。警視庁はありますか。</p>
寺内副会長	<p>こちらの最後、沿線住民アンケートおよび利用者アンケートの自由意見を書いていただいているんですけれども、もし何か特徴的な意見があれば教えていただけますでしょうか。運賃の改善要望は高いから安くしてほしいということなんだろうと思いますが、バリアフリー、車両の大きさ、運行本数等、その辺りで改善のヒントになるような何か御意見というのがもし得られているようでしたら、教えていただけますか。</p>
鈴木課長	<p>沿線住民アンケートは、沿線300mの無作為抽出で御回答いただいたわけですが、その中でも、沿線は縦長というか、長い路線になっておりますので、その中でお住まいの住所も一定お聞きしてお答えいただいているところがございますが、大森駅北口に近い方々というのは利用意向は非常に高いんですが、なかなかまだ利用されていない。その中の1つに、やはりバス停の間隔的なところの御意見も具体的にいただいているところが特徴的な御意見としていただいているところです。</p>
寺内副会長	<p>この区間のバス停が最初から難しいというところで、利用者の方の意見も踏まえてどうするかということが分かりました。ありがとうございます。</p> <p>あとは、コメントですけれども、先ほど会長からもお話がありましたが、今後、収支率をどう考えていくかということ、考え方を提示していかなくちゃいけないところだと思います。高齢者の方の利用が多い中で、これだけ各便に利用者数がいて需要があり、夜間は立たないと乗れないというような状態であるとする、これ以上利用者を増やして収支率を上げていくことが、かえってサービス水準を落としてしまうようなことにもつながるかもしれないということです。本格導入の判断基準である収支率50%というようなところはこれでいいと思います。ただ、これにシルバーパスの方をどうカウントしていくか、今回のこういうアンケートをまた丁寧に利用者にお伺いして、支持されているバスなのかどうか、改善していけるところはどこかというようなところが大事なのかなと思います。そういうところも含めて、最終判断をしていける形になっていけばよいと思いますので、その辺りも御検討いただければと思います。</p>

	<p>ありがとうございました。</p>
寺田会長	<p>よろしいでしょうか。ほか御質問ございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>さっき上屋のお話、バス停の屋根の話が出ましたけれども、東京都の別の区のケースでは、全部のバス停のカルテみたいなものを作り、チェックを行い、急行バスが止まるバス停は全部上屋をつけようということをやります、今ほぼ目標を達成したはずで。道路管理者か誰が主体として実施するかは別として、そういうことも必要かなというふうに思いました。</p> <p>そんなところでよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、一旦切りますけれども、本日の議題に限らず、連絡事項やこの場を借りてお伝えしたいこと等がある方がいらっしゃいましたら、御発言をお願いいたします。半年に1回ぐらい、会議を開けるのもこの程度ですので、この機会に何かありましたら、いいですか。</p> <p>それでは、御発言がなければ、以上で本日予定しておりました議題を終わりにします。よろしいでしょうか。</p>
鈴木課長	<p>本日はありがとうございました。本日、御説明は差し上げませんでした、しなバス利用者連絡会ニュースというのを机上にお配りさせていただいております。今回、試行運行を開始している大井ルートに沿線の方々、事業者の方、商店街の方々、お住まいの方々、公募区民の方から成る会を立ち上げております。この中で、大井ルートの利用状況をお示しして御意見をいただく、あるいは車内広告の利用促進に向けたPRを地域に持ち帰っていただけて行っていただく等々、こちらの利用者連絡会、定期に行っていききたいというところと、本日はそのニュース第1号を発行し、これから地域の方に個別に配付させていただくというようなことで御紹介をさせていただきます。</p> <p>それから、先ほど会長からお話がございましたが、次回の協議会につきましては、今、様々、運行状況の改善策の検討をしておりますので、その状況に応じて次回の開催について、まだ何月頃というお示しはできませんが、御案内を差し上げたいと思いますので、よろしく申し上げます。</p> <p>事務局からは以上でございます。</p>
寺田会長	<p>それでは、これもちまして第5回品川区地域公共交通会議を閉会いたします。活発な御議論をいただきまして、どうもありがとうございました。</p>

	した。
鈴木課長	ありがとうございました。

— 了 —